



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 名糖産業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 寛志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052 521 7111

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 10,594 | 0.1 | 128 | 59.5 | 373 | 42.4 | 307 | 39.0 |
| 30年3月期第2四半期 | 10,608 | 6.2 | 317 | 146.9 | 648 | 78.4 | 504 | 17.2 |

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 3,710百万円 (77.1%) 30年3月期第2四半期 2,095百万円 (717.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第2四半期 | 18.22 | |
| 30年3月期第2四半期 | 29.86 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 76,813 | 47,388 | 61.7 |
| 30年3月期 | 67,577 | 44,016 | 65.1 |

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 47,388百万円 30年3月期 44,016百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | | | 20.00 | 20.00 |
| 31年3月期 | | | | | |
| 31年3月期(予想) | | | | 20.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 24,000 | 1.8 | 100 | 89.2 | 600 | 57.8 | 450 | 32.3 | 26.63 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期2Q | 17,265,000 株 | 30年3月期 | 17,265,000 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期2Q | 369,516 株 | 30年3月期 | 369,035 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期2Q | 16,895,716 株 | 30年3月期2Q | 16,896,397 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外の堅調な需要に支えられて景気の拡大を続けてきましたが、消費者の節約志向は根強く、また天候不順や多発した自然災害が影響し、さらに過熱する米中の貿易摩擦も懸念されて、景気の持続力に陰りが生じて減速不安が強まることとなりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、消費者の健康志向を背景とした高機能商品への需要が堅調である一方で、エネルギーコストや物流費の高騰、さらに販売促進費などの負担が増加して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、生産能力の増強と商品の品質向上に注力した愛知県瀬戸市の新チョコレート工場を本年9月に本稼働させるとともに、精力的な営業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて0.1%減の10,594百万円となりました。営業利益につきましては、減価償却費や販売費などのコストの増加により、前年同期と比べて59.5%減の128百万円となりました。また、経常利益は、営業利益の減少に加え新工場の試運転費用の計上により、前年同期と比べて42.4%減の373百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期と比べて39.0%減の307百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は積極的な販売活動を展開しましたところ、売上が堅調に推移して増収となりました。チョコレート類は、「アーモンドチョコレート カカオ73」などのファミリータイプの商品や、受託商品などが売上を伸ばして増収となりました。キャンディ類は受託商品が売上を落として減収となりました。

粉末飲料部門は、分包タイプの「スティックメイト」シリーズの売上は伸長しましたが、主力の「レモンティー」などが苦戦して減収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、受託商品の売上が落ち込んだことなどにより減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカーは、積極的な商品提案を継続しましたところ、バウムクーヘン類やゼリー類が売上を落としましたが、ケーキ類が売上を伸ばして増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ0.3%増の9,320百万円となりました。営業利益につきましては、瀬戸工場の稼働などに伴う減価償却費の増加や物流コストの上昇などにより前年同期に比べ24.2%減の326百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては、脂肪分解酵素「リパーゼ」は売上を伸ばしましたが、海外を主な市場としているチーズ用凝乳酵素「レンネット」は輸出相手国の経済状況の悪化などにより売上が低下し、減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」の売上は増加しましたが、乳癌転移検出用医療機器で使用される「デキストランマグネタイト」が前年同期にまとまった受注があったため当期はその反動で減少し、減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ3.6%減の1,111百万円となりました。営業利益につきましては、販売費や研究費の増加などにより前年同期に比べ53.6%減の71百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、事務所や駐車場の賃貸契約の増加などにより、売上高は前年同期に比べ2.8%増の162百万円となり、営業利益は前年同期に比べ3.5%増の63百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,833百万円減少し、10,220百万円となりました。これは、新工場の建設などにより現金及び預金が3,100百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11,069百万円増加し、66,592百万円となりました。これは、新工場の建設などにより建物及び構築物が6,550百万円増加したことや機械装置及び運搬具が4,749百万円増加したことおよび有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が5,266百万円減少したこと、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が4,921百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ9,236百万円増加し、76,813百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,045百万円増加し、11,211百万円となりました。これは、新工場の建設などによりその他に含まれる未払金が2,755百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,819百万円増加し、18,212百万円となりました。これは、新工場の建設により長期借入金が増加したこと、保有する株式の株価の上昇などにより繰延税金負債が増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,864百万円増加し、29,424百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,371百万円増加し、47,388百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,100百万円減少し、1,504百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、558百万円（前年同期は628百万円の収入）となりました。資金の主な増加要因は、減価償却費755百万円および売上債権の減少額413百万円であり、主な減少要因は、未収消費税等の増加額936百万円およびたな卸資産の増加額795百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は、3,758百万円（前年同期は1,514百万円の支出）となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入100百万円であり、主な減少要因は、新工場の建設などに伴う有形固定資産の取得による支出3,857百万円であります。

財務活動の結果得られた資金は、1,215百万円（前年同期は451百万円の支出）となりました。資金の主な増加要因は、長期借入れによる収入1,580百万円であり、主な減少要因は、配当金の支払額336百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成30年5月11日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,605 | 1,504 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,834 | 4,420 |
| 有価証券 | 199 | 100 |
| 商品及び製品 | 1,057 | 1,410 |
| 仕掛品 | 402 | 451 |
| 原材料及び貯蔵品 | 940 | 1,334 |
| その他 | 37 | 1,019 |
| 貸倒引当金 | △22 | △19 |
| 流動資産合計 | 12,054 | 10,220 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,030 | 10,580 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,356 | 8,106 |
| その他(純額) | 11,454 | 6,290 |
| 有形固定資産合計 | 18,841 | 24,977 |
| 無形固定資産 | 78 | 105 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 36,465 | 41,387 |
| その他 | 166 | 150 |
| 貸倒引当金 | △28 | △28 |
| 投資その他の資産合計 | 36,602 | 41,509 |
| 固定資産合計 | 55,522 | 66,592 |
| 資産合計 | 67,577 | 76,813 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,534 | 2,756 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 86 | 281 |
| 未払法人税等 | 263 | 41 |
| 返品調整引当金 | 4 | 2 |
| その他 | 5,277 | 8,130 |
| 流動負債合計 | 8,166 | 11,211 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,727 | 7,069 |
| 繰延税金負債 | 6,030 | 7,557 |
| 役員退職慰労引当金 | 7 | 8 |
| 固定資産撤去費用引当金 | 210 | 210 |
| 退職給付に係る負債 | 2,980 | 2,965 |
| その他 | 437 | 401 |
| 固定負債合計 | 15,393 | 18,212 |
| 負債合計 | 23,560 | 29,424 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,313 | 1,313 |
| 資本剰余金 | 76 | 76 |
| 利益剰余金 | 26,347 | 26,317 |
| 自己株式 | △705 | △706 |
| 株主資本合計 | 27,031 | 27,000 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16,987 | 20,389 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △2 | △1 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16,985 | 20,388 |
| 純資産合計 | 44,016 | 47,388 |
| 負債純資産合計 | 67,577 | 76,813 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 10,608 | 10,594 |
| 売上原価 | 6,935 | 6,955 |
| 売上総利益 | 3,673 | 3,638 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売促進費 | 1,350 | 1,390 |
| 運送費及び保管費 | 664 | 730 |
| 給料手当及び賞与 | 734 | 753 |
| 退職給付費用 | 47 | 48 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 1 | 1 |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 | △3 |
| 減価償却費 | 48 | 54 |
| その他 | 509 | 534 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,356 | 3,510 |
| 営業利益 | 317 | 128 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 4 |
| 受取配当金 | 321 | 359 |
| 持分法による投資利益 | 27 | 29 |
| その他 | 23 | 25 |
| 営業外収益合計 | 377 | 419 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15 | 14 |
| 固定資産除売却損 | 24 | 34 |
| 支払手数料 | 3 | 3 |
| 試運転費用 | - | 119 |
| その他 | 2 | 2 |
| 営業外費用合計 | 45 | 173 |
| 経常利益 | 648 | 373 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 648 | 373 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 121 | 30 |
| 法人税等調整額 | 22 | 35 |
| 法人税等合計 | 144 | 65 |
| 四半期純利益 | 504 | 307 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 504 | 307 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 504 | 307 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,588 | 3,401 |
| 退職給付に係る調整額 | 2 | 1 |
| その他の包括利益合計 | 1,590 | 3,402 |
| 四半期包括利益 | 2,095 | 3,710 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,095 | 3,710 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 648 | 373 |
| 減価償却費 | 585 | 755 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 4 | △13 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 1 | 1 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △7 | △3 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 23 | 34 |
| 受取利息及び受取配当金 | △326 | △364 |
| 支払利息 | 15 | 14 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △27 | △29 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △71 | 413 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △554 | △795 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 118 | 222 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | - | △936 |
| その他 | 52 | △353 |
| 小計 | 461 | △682 |
| 利息及び配当金の受取額 | 328 | 365 |
| 利息の支払額 | △15 | △14 |
| 法人税等の支払額 | △146 | △226 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 628 | △558 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券及び投資有価証券の取得による支出 | △400 | - |
| 有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入 | 100 | 100 |
| 定期預金の払戻による収入 | 10 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,238 | △3,857 |
| その他 | 13 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,514 | △3,758 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 30 | 50 |
| 長期借入れによる収入 | - | 1,580 |
| 長期借入金の返済による支出 | △86 | △43 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △336 | △336 |
| その他 | △58 | △33 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △451 | 1,215 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,337 | △3,100 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,232 | 4,605 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,895 | 1,504 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 食品事業 | 化成品事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,297 | 1,153 | 158 | 10,608 | — | 10,608 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,297 | 1,153 | 158 | 10,608 | — | 10,608 |
| セグメント利益 | 430 | 153 | 61 | 645 | △328 | 317 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 食品事業 | 化成品事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,320 | 1,111 | 162 | 10,594 | — | 10,594 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,320 | 1,111 | 162 | 10,594 | — | 10,594 |
| セグメント利益 | 326 | 71 | 63 | 461 | △333 | 128 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(別紙)

名糖産業株式会社

平成31年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

| | 26/9月 | 27/9月 | 28/9月 | 29/9月 | 30/9月 |
|----------------------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 売上高 | 8,929 | 9,659 | 9,991 | 10,608 | 10,594 |
| 営業利益 | △ 557 | △ 48 | 128 | 317 | 128 |
| 経常利益 | △ 272 | 260 | 363 | 648 | 373 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | △ 97 | 335 | 430 | 504 | 307 |

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

| | 27/3期 | 28/3期 | 29/3期 | 30/3期 | 31/3期予想 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 20,080 | 21,390 | 22,137 | 23,565 | 24,000 |
| 営業利益 | △ 292 | 482 | 556 | 927 | 100 |
| 経常利益 | 224 | 951 | 1,030 | 1,422 | 600 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 64 | 763 | 877 | 664 | 450 |